

2023夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果抜粋【受入事業所】

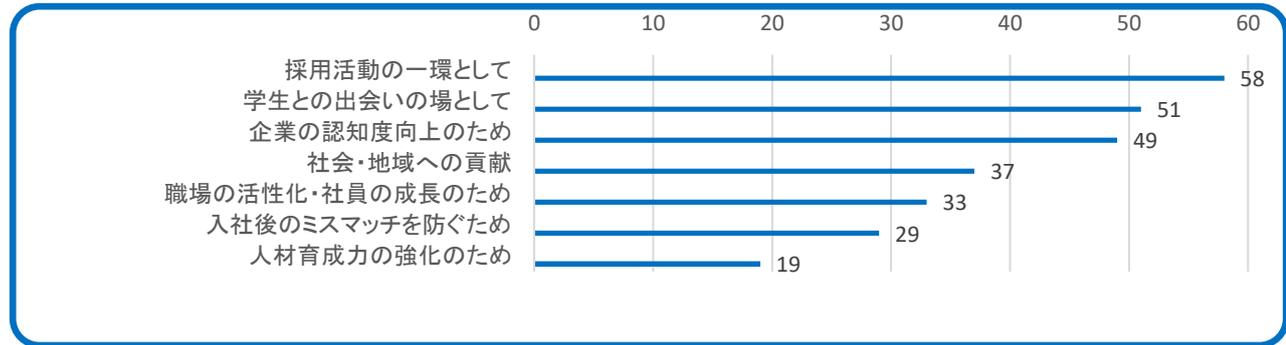
2023夏期しまね短期仕事体験受入事業所 実施報告アンケート

マッチング企業数 : 69社

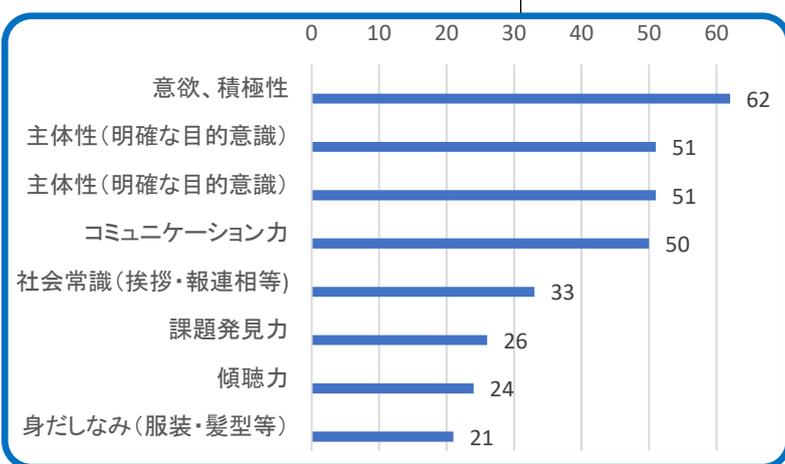
回答データ: 67件

回答率: 97.1%

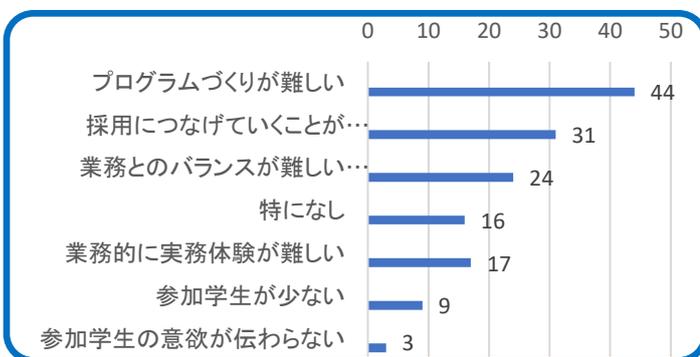
問1 短期仕事体験を受け入れた主な目的として該当するものを選択してください。(複数回答可)



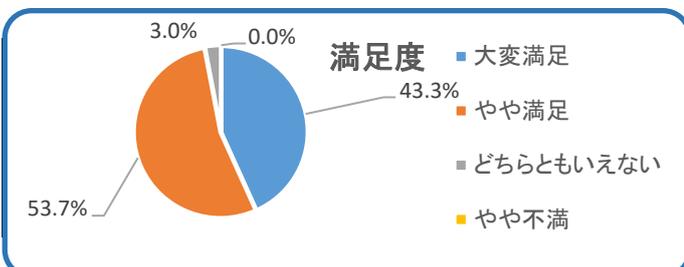
問2 短期仕事体験参加学生に求めていたこと(複数回答可)



問3 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(複数回答可)



問4 全体を通した満足度



2023夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果抜粋【受入事業所】

記述1 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題

- ▶ 実際の業務は顧客から受注した機密情報になるため体験させることが難しい。代替のプログラムを用意すること、それをもって職場体験とすることが難しい。
- ▶ 受入経験の不足・対応社員の不足、現場の理解不足など受入体制が整備出来ていない。また、学生さんの求めている内容となっているかどうか判断が付きにくい。
- ▶ 業務の中で利用者との関わりがしたいと希望が出ることもあるが、具体的にどんな関わりを学生が求めているのか、捉えづらくプログラム作りが難しいです。また、良い学生と出会えれば採用につながられればと思うが、どのようにアプローチしていくべきか難しいところだと感じています。
- ▶ 職種上、採用に繋げることは難しいと感じています。同様に実務体験も制限されるため、学生がイメージする「仕事体験」とプログラムがミスマッチとなっているのではと思っています。
- ▶ 仕事体験から採用に繋がらないケースが多く、学生のニーズに合ったプログラムが何なのか分からない。また、現場との調整も難しい。
- ▶ プログラムづくりが難しい。ただ体験するだけではなく、ゴールを作りたいですが、難しいです。せっかく出会った学生さんに継続して繋がりをもちたいですが、出来ていないのが課題です。
- ▶ 業界への興味・関心や就職先の一つとして考えているかどうかの度合いが学生によって異なるため、仕事体験の難易度をどう設定するかが課題。これまでインターンシップや短期職業体験に参加した学生が、採用活動で大きなメリットを感じられるような取り組みをしていないため、早急に検討が必要。
- ▶ 人事部から各担当部署へ研修を依頼するにあたり、スケジュール調整など細かな点で対応が必要である。
- ▶ 業界の認知度の低さも関係しているが、そもそも母数が少ないので仕方がないと考えています。あとは、採用の範囲を文系まで広げるなどの企業努力だと思っています。
- ▶ 仕事体験希望学生のニーズが分からないので、何をもち帰ってほしいのか、課題づくりが難しいと思っています。
- ▶ 仕事体験自体は採用的にも社員のモチベーション向上のためにもメリットも多いため、積極的に実施をしたいが、日常業務への負担を考えると多くの時間をさけない。
- ▶ 全員ではないが、学生自身に参加先企業への就職の意欲がそもそもない(単位取得のため 等)ケースがある。
- ▶ ・事前の連絡なしに遅刻、欠席する学生があった。
▶ ・1名のみを受入れる職種について、学校の用務で当日急遽欠席するといった事案があった。(当日連絡あり)
- ▶ 本人の希望先と実習先のミスマッチなのか、実習に対する意欲が乏しいと感ずることがありました。

記述2 より良い「短期仕事体験」となるように、自社で工夫したことはありますか？

- ▶ 実務に近い課題になるよう情報を揃えました。また、採用担当ではなく現場のメンバーがメンターになることで、より実践的なやりとりができるようにしました。
- ▶ 受入初日に学生さんの参加目的と会社側の受入目的を発表し合い、目的と見比べてプログラムが適正であるか、みんな確認し合いました。
- ▶ 事前に工場見学に来て会社の概要を理解してもらった。目的と目標をお互いに確認した。1日ごとに全ての部門を体験してもらい、モノづくりの流れ全体が理解できるプログラムを考えた。自作のサンプル品を作って記念に持ち帰ってもらった。
- ▶ 実務的な課題を用意し、「何のために」という目的・目標設定を設けた。また、グループワークで学生が考えたアイデアを今後何らかの形で実現化していくようにしている。
- ▶ 学生同士の交流になればと、課題をチームで行うようにした(結果として思ったような交流はしていなかった様子)

2023夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果抜粋【受入事業所】

▶ 実業務に携わる機会を与えられないため、業務に必要な報告・連絡・相談、スケジュール管理、コミュニケーションの重要性を理解できるようなカリキュラムに努めました。

▶ 今回から若手スタッフの担当の時間を増やしました。また、各現場での体験の時間を増やすことによって、入社後の働くイメージができるようになりました。

▶ 就業体験経由で入社した社員に本音の意見を聞いて内容を修正しました。

▶ 事前に取り扱い商品を自宅に送り、試食してから参加し、プレゼンにつなげた。

▶ 事前に何がやりたいか聞きました。しかし、聞き取りが甘かったような感じもしておりますので、次回以降はもっと徹底して聞き取りをしようと思っています。

▶ いろいろな職種・社員と交流していただけるよう準備いたしました。研修場所は松江の事務所でしたが、浜田や東京のオフィスとオンラインで接続し、事務職、営業職、技術職、販売戦略の社員と触れ合う機会を設けました。また、社会人としての最低のマナーであるみだしなみや挨拶講座、今後の就職活動に活かしていただけるよう、自己分析なども行いました。

- ・1日かけて学生と一緒にプログラムを作ったこと
- ・共通言語をつくったこと
- ▶ ・5日間の明確な目標と目的を決めたこと
- ・決めた目標に向かって、5日間毎日振り返りをして、微修正しながら業務を行ったこと

▶ 技術系だけでなく、総務や営業分野も取り入れ、広く会社全体を体験いただくスケジュールを組みました。(当初は逆に社員側の抵抗感がありましたが、実践後はしっかりと達成感や満足感があり、チャレンジして良かったと思っています)

▶ 時と場合を考慮し、答えを直接教えるのではなく、検索方法やヒントを教えることで、学生たちに答えを考えてもらいました。それにより、学生の成長に繋がったと思います。

▶ 初日のオリエンテーションの時間を長く取り、何を学びたいと思っているのか等を聞き出すようにした。座談会の時間をいつもより多く取った。

▶ 同世代の社員を主担当とし、仕事体験中も若手社員を中心に対応して年の近い社員の生の声を聴ける環境を作った。また昼食会をひらき、交流を深めた。

▶ 事前に目標設定シートを作成し、参加者全員と共有した。振り返りも同様に参加者全員で共有した。

▶ 初日に、どのような目的で参加したかを1時間程度時間をとってヒアリングを行い、以後のプログラムづくりに反映した。隔離した会議室でのワークを極力減らして、社員の通常業務の様子を感じられる場所で時間を過ごせるように配慮した。

▶ 今回から従来の担当者から、若手の社員に担当をシフトしていったため、社内的な人材育成の機会にもなった。また、自社が出展するイベントの企画内容を検討してもらい、学生の考案した企画を実施できたため、社内負担軽減につながった。

2023夏期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果抜粋【受入事業所】

- ▶ ずっと同じ部署の体験ではなく、2か所を経験することで交流や体験が増えたと思います。
- ▶ 事前にオンラインでの面談を実施しました。

- ▶ 参加学生の所属大学と担当する若手社員の出身校を合わせる等、社員との交流が増えるようにした。
- ▶ 今回より、会社全体で参加学生を歓迎するムード作り、社内周知を行いました。また、若手社員との交流会を計画しました。全体の流れが分かるよう、スケジュール表、担当者、作業内容を記入した表を作成しました。

記述3 全体を通した満足度の理由

【大変満足】

- ▶ 積極的に質問してメモを取る姿に、受け入れを担当したメンバーも触発されて、お互いに刺激になり社内の活性化に役立ったと思います。
- ▶ 当初の目的以外の成果物が非常に多かった。社内でも同様にこの取り組みによる気づきや発見もあり、今後の部署連携や社内理解に繋がった。
- ▶ 社会で活躍する為の課題が明らかになり、前向きに改善しようとする姿勢も学生から見受けられた。
- ▶ 学生との交流をすることで双方にメリットがあると感じ、やりがいにつながっている。
- ▶ 素直で謙虚な学生さんで、今まで自社になかった視点や、人材育成の観点でたくさんの新たな気づきを得ることができたため。
- ▶ 今回から従来の担当者から、若手の社員に担当をシフトしていったため、社内的な人材育成の機会にもなった。また、自社が出展するイベントの企画内容を検討してもらい、学生の考案した企画を実施できたため、社内負担軽減につながった。

【やや満足】

- ▶ 初めての受入れであったため上手いかなかった点多々あったのですが、学生さんへの会社や仕事の説明に、担当した社員達が団結して取り組めたことで、今後につながる第一歩が踏み出せたと思います。
- ▶ 5日間を通し、多くの学生に参加してもらうことができ、当社の基本的なことや仕事の内容について知ってもらうきっかけとなった。また、学生たちが発表したアイデアが採用活動や当社のSNSの参考になることが多々あった。
- ▶ 仕事体験を通して何を学びたいか、きちんと目的意識を持って参加されていました。こちらから何かを伝えるだけでなく、学生さんからも色々な意見を出していただけて、とても楽しかったです。
- ▶ 店舗を見たことがあったり、名前を知っていたりすることはあっても内部まで見たことはない様子だったが、仕事体験を通して印象が変わったと言って頂けた。楽しかったとも感想をいただいたため、仕事を体験しながら会社や業務内容を知っていただけたことに満足しています。
- ▶ プログラムの内容的に、もう少し工夫ができていると学生の満足度も高かったのでは、と感じます。
- ▶ コミュニケーションが難しい。
- ▶ 業界への関心・興味が薄い学生にとっては5日間は長かったのではないかと感じたため。「今後変わるかもしれないが、現時点では業界での就職を(も)考えている」という学生でなければ、採用にはつながっていかないと感じた。

【どちらともいえない】

- ▶ 受け入れる側としても課題が残った仕事体験だと思ったからです。
- ▶ 今後採用活動に繋がれば満足度が上がる。